

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	「ふるさと納税寄附金」等周知・拡充事業		担当部署	企画総務部 企画課	
総合計画体系			根拠法令計画など	「ふるさと納税寄附金」等周知・拡充事業	
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり	事業期間	開始	平成 20 年度
政策(中項目)	2	行政・品質向上都市なると			終期
(小項目)		行財政運営			
施策	2	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	1	財政の健全化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 本市にゆかりのある方、本市を応援したい方など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市を応援したい、本市に貢献したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「寄附金制度」の確立。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		寄附金額	2,000	2,000	3,000	3,000	4,000	千円

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成23年度から、年間5千円以上ふるさと納税寄附金をいただいた方へ、記念品(鳴門わかめ)を送付するとともに、寄附金の一部を活用し事業化を進め、その用途状況を市公式ホームページで公開した。また、市公式ホームページのふるさと納税に関するコーナーをリニューアルするとともに、PR用チラシを作成し、県人会などにおいて配布するなど、制度の周知に努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ふるさと納税寄附者人数	37	20	30	30	40	人
	2	うちリピーター人数	9	8	10	15	15	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	寄附金額		12,287	2,920	—	—	—	千円
	目標達成率(実績/目標)			146.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		0	34	103	103	103	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	34	103	103	103	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		652	686	755	755	755	千円	

【事務事業名：「ふるさと納税寄附金」等周知・拡充事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	記念品を本市観光施設のペアチケット(鳴門市ドイツ館、賀川豊彦記念館、渦の道)に変更し、本市を訪れる機会を創出するとともに、県人会等において、ふるさと納税PRパンフレットの配布を行う。また寄附していただいた方が、寄附の効果を実感できるように、いただいた寄附金がどのような事業に活用されたかを、寄附者に対して、情報提供するため予算事業化の検討をする。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	ふるさと納税寄附金制度をPRすることにより寄附金額が増加すれば、一般財源に頼らない行政活動が可能になり市民サービスの向上につながる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 効率的・効果的な行財政運営の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	県人会への積極的な働きかけ、ふるさと記念品等の充実などを行ったことにより、新規寄附者の増加、またリピーターの確保につながった。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
/10	<input type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	PR対象を絞ったり、受付窓口の一本化を図ることが、効率性向上につながるかを今後の検討課題としてみたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	平成23年度は、平成22年度と比較して、寄附者人数及びリピーター数が減少している。平成24年度においては、パンフレットを新たに更新・作成し、PRを行っているところだが、今後ともより一層の「ふるさと納税制度」の分かりやすい説明と鳴門市を応援したいと思っていただけるようなPR方法の改善を行い、さらなる周知・拡充に努めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	「ふるさと鳴門」を感じていただけるように、ふるさと納税PRパンフレット及びホームページの改善を行い、さらなる周知・活動につなげる。			